



県病医療ニュース

〒870-8511 大分市豊饒二丁目8番1号 TEL097-546-7111(代表) 内線7712:県病ニュース係



※当ニュースへのご意見・ご感想は県病ウェブサイトをご利用ください。

大分県立病院ウェブサイトはこちら

膠原病・ リウマチ内科

免疫抑制薬・ステロイドと 新型コロナウイルス感染症について

膠原病・リウマチをはじめとして様々な病気に対して免疫抑制薬やステロイドを日常的に飲んでおられる患者さんは多いと思います。「ステロイドを飲んでいて新型コロナにかかりやすいんじゃないかなあ」「免疫抑制剤を使用しているけどワクチンは効くのかなあ」など様々な疑問があるはずですのでその一部にお答えしたいと思います。



①「コロナが大流行しているのに免疫抑制薬・ステロイドを飲んでいて大丈夫か」

免疫抑制薬、生物学的製剤、抗リウマチ薬、ステロイド治療を受けている方が新型コロナに罹りやすいというデータはありません。ただし、リウマチ膠原病自体の症状が悪い時に新型コロナに罹ると重症化しやすいという報告はあります。つまり、コロナが怖いから薬を減らすのは間違いで、薬を調整して症状を抑えておく必要があります。

②「ワクチン接種前後で免疫抑制薬やステロイドは続けた方がよいか」

通常の免疫抑制剤やステロイドは継続してかまいません。ただ、一部の免疫抑制剤はワクチンとの間隔をあけた方がいいものもありますので、主治医にご相談ください。

ステロイドはプレドニンで少なくとも10mg/日以下ではコロナウイルスに対する抗体価はステロイドを飲まない人と変わらなかったというデータがあります。

まだよくわからない点もありますが、主治医と相談してできるだけワクチン接種をすることが感染予防には重要と考えられます。

(膠原病・リウマチ内科 部長 柴富 和貴)



看護部

リンパ浮腫看護外来の紹介

大分県立病院では2019年9月にリンパ浮腫看護外来を開設しました。

対象 当院で婦人科がん・乳がんで手術を受けた患者さん **日時** 金曜日(予約制)

リンパ浮腫とは

リンパ浮腫とは、何らかの原因で、リンパの流れが悪くなり、手や足にリンパ液が多くなって起こる慢性のむくみです。一旦、発症すると完全に治癒することは難しく、一生付き合うことになる場合が多い病気です。

原因

乳がんや婦人科がん、泌尿器科がんなどでのリンパ節の切除や、放射線治療、一部の薬物療法などによって、リンパ液の流れが悪くなることで起こります。その他生まれつきリンパ管の形成不全や機能障害が原因の場合もあります。

治療方法

保存療法：浮腫部分の圧迫や、圧迫下での運動、リンパドレナージ、スキンケア、体重管理などの日常生活管理を行います。

浮腫を軽減したり、悪化を防ぐ、進行のペースを抑えることができます。リンパ管の流れは障害されたままなので、完治させることは困難です。

外科的治療：リンパ管静脈吻合術、リンパ節・リンパ管移植

貯まったリンパ液を静脈に流すためのバイパスを作ります。新たなリンパ管の流れを作る手術です。
※当院では外科的治療は行っておりません。

リンパ浮腫看護外来受診の流れ

①医師の診察

浮腫の原因となる他の疾患や、圧迫療法やリンパドレナージを行えない病気(深部静脈血栓症や閉塞性動脈硬化症など)が隠れていないかどうか判断します。

②検査

採血
超音波検査
CT
など

③リンパ浮腫看護外来

体組成分析、患肢の計測
弾性着衣・弾性包帯の選択や装着説明
体重管理や運動療法
日常生活の注意点の説明
リンパドレナージ など



(リンパ浮腫セラピスト 看護師 曾根崎 華子)

病気に対する正しい知識と治療方法を看護師と一緒に習得しておくみの改善や悪化しないようにサポートしていきます。



看護師ほか医療スタッフの臨時職員を募集しています。詳しくはこちら